記者発表資料

水資源機構

令和8年2月16日
独立行政法人水資源機構筑後川局
筑後川上流総合管理所

小石原川ダムの渇水対策容量の活用について

筑後川流域では少雨傾向が続いており、令和７年９月以降月間降水量が平年値を下回っています。この少雨傾向に伴って不足した用水に対し、ダムから継続的に補給したことで貯水量が減少を続けています。

令和８年２月１３日(金)、令和７年度第７回筑後川水系渇水調整連絡会が開催され、「第４次渇水調整事項」が合意されました。

これを受け、２月１４日(土)１１時から、小石原川ダムの渇水対策容量に備蓄した1,870万立方メートルのうち900万立方メートルの水の活用を開始したのでお知らせします。

※ 第4次渇水調整事項の詳細は、以下のページでご確認ください。
https://www.qsr.mlit.go.jp/n-kawa/kasensaigai/kassui-r7.html

お問合わせ先 ： 筑後川局　総務課長　内海（うつみ）　施設管理課長　海野（うみの）
住　所：福岡県久留米市東町４２－２１
電　話：０９４２（３４）７００１（代表）

●小石原川ダムに関しては以下の事務所にお問い合わせください。
筑後川上流総合管理所 総務課長 松崎（まつざき）　管理課長 村田（むらた）
住　所：：福岡県朝倉市江川１６６０－６７
電　話：０９４６（２５）０１１３（代表）

発表記者クラブ： 国土交通省九州記者会、九州建設専門記者クラブ、久留米市政記者クラブ、佐賀県政記者クラブ、日田市政記者クラブ、西日本新聞朝倉支局、読売新聞筑紫支局、毎日新聞福岡本部社会部、朝日新聞福岡本部社会部